

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL : 0173-57-2001

FAX : 0173-57-4929

E-mail : t_gijyutu_c@maff.go.jp

平成30年度低密度植栽試験現地検討会（遠野支署）

【 野口主任研究員 】



平成30年9月13日（木）、岩手及び宮城県内の林業事業者、民有林担当者等を対象に低密度植栽試験現地検討会を岩手南部森林管理署遠野支署の遠野市東恩徳国有林で開催しました。

当日は、森林総合研究所東北支所からの3名を含め総勢69名の参加をいただきました。午前中は、森林総合研究所東北支所の野口主任研究員より「再造林コストの低減に向けた低密度植栽と下刈り削減」について基調報告があり、その後当センターより「低密度植栽試験の報告」を行いました。木材価格の上昇が見込めない状況が続く中、低密度植栽・下刈り省略について興味深く聞き入っていました。

また、参加者からは「試験地ではシカ対策は行っているのか」などの質問・意見が出されました。午後からは実際に低密度植栽試験地を見学していただき、試験地で平成26年度から実施している低密度植栽・下刈り省略試験の調査結果を当センターから説明し、参加者からは「最終的にどういう目標林型にもっていくのかを考える必要がある」等の質問・意見が出され、活発に意見交換が行われました。



また、実際に下刈りを実施した業者からは、「筋刈りをするとうり残したところがクマなどの動物の隠れ場所になってしまうので、周囲に注意しながら作業した」等の感想が聞かれました。

今後、当該地の低密度植栽試験について必要時期に成長量調査等をすすめることとしています。

【森林技術専門官 増田】

早生樹試験現地検討会（米代東部署）

平成30年9月25日（火）、秋田県内の地方公共団体を対象に早生樹試験の現地検討会が米代東部森林管理署の綴子沢外1国有林で開催されました。

当日は、秋田県からの6名を含め総勢18名の参加があり、平成29年度から実施している早生樹試験の調査結果を当センターから説明、その後、参加者に実際に早生樹試験地を見学していただきました。参加者からは「苗が50cmのものと、100cmのものがあるのはなぜか」や「苗を大苗にして下刈りを省略してはどうか」等の質問・意見が出され、活発に意見交換が行われました。

今年度も引き続き、早生樹試験について試験地の調査データを収集し、成長量調査等の検証をすすめることとしています。
【森林技術専門官 増田】



森をさんぽ

増田です！



森林技術専門官
増田 悠介

キノコというという形を思い浮かべるでしょうか。普段、我々が目にするキノコは、子実体と呼ばれるもので生殖器官になります。実は本体は肉眼では確認が難しい、菌糸とよばれる細い糸のようなものがクモの巣のような形状をしています。乾燥と熱に弱いため、土の中や木などに本体を隠しています。

毎年、秋になるとキノコを食べて中毒を起こしたという記事をよく目にします。日本では約4000～5000種のキノコがあるとされ、そのうち食用キノコが約100種、毒キノコは約40種が知られています。その他の多くのキノコは詳しいことはよくわかっていません。キノコは未知の部分が多いのが

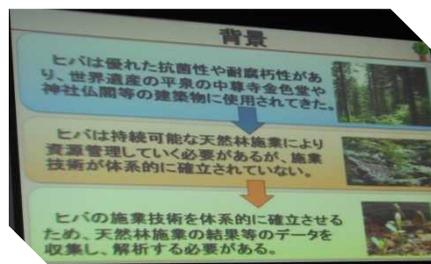
現状です。例えば、スギヒラタケというキノコは以前は食用とされていましたが、2004年の中毒事件から毒キノコとして扱われるようになりました。

キノコ狩りに出かける際は、確実にわかるものだけをとり、わからないものはとらないことが鉄則です。



平成30年度東北森林科学学会大会

増田森林技術専門官



9月4日～5日に秋田市で開催された第23回大会に、東北森林管理局から当センターの増田森林技術専門官が「ヒバ天然林施業の調査データ収集と解析」について発表しました。

編集後記

今年度森林技術・支援センター主催の「低密度植栽試験現地検討会」が無事に終了しました。共催の岩手南部森林管理署遠野支署及び協力いただいた皆様、お疲れ様でした。

さて、朝夕とめっきり気温も下がり体調管理に気を遣いますね。風邪予防にビタミンC豊富な秋の味覚を楽しみながら、風邪なんて吹き飛ばして下さいね！